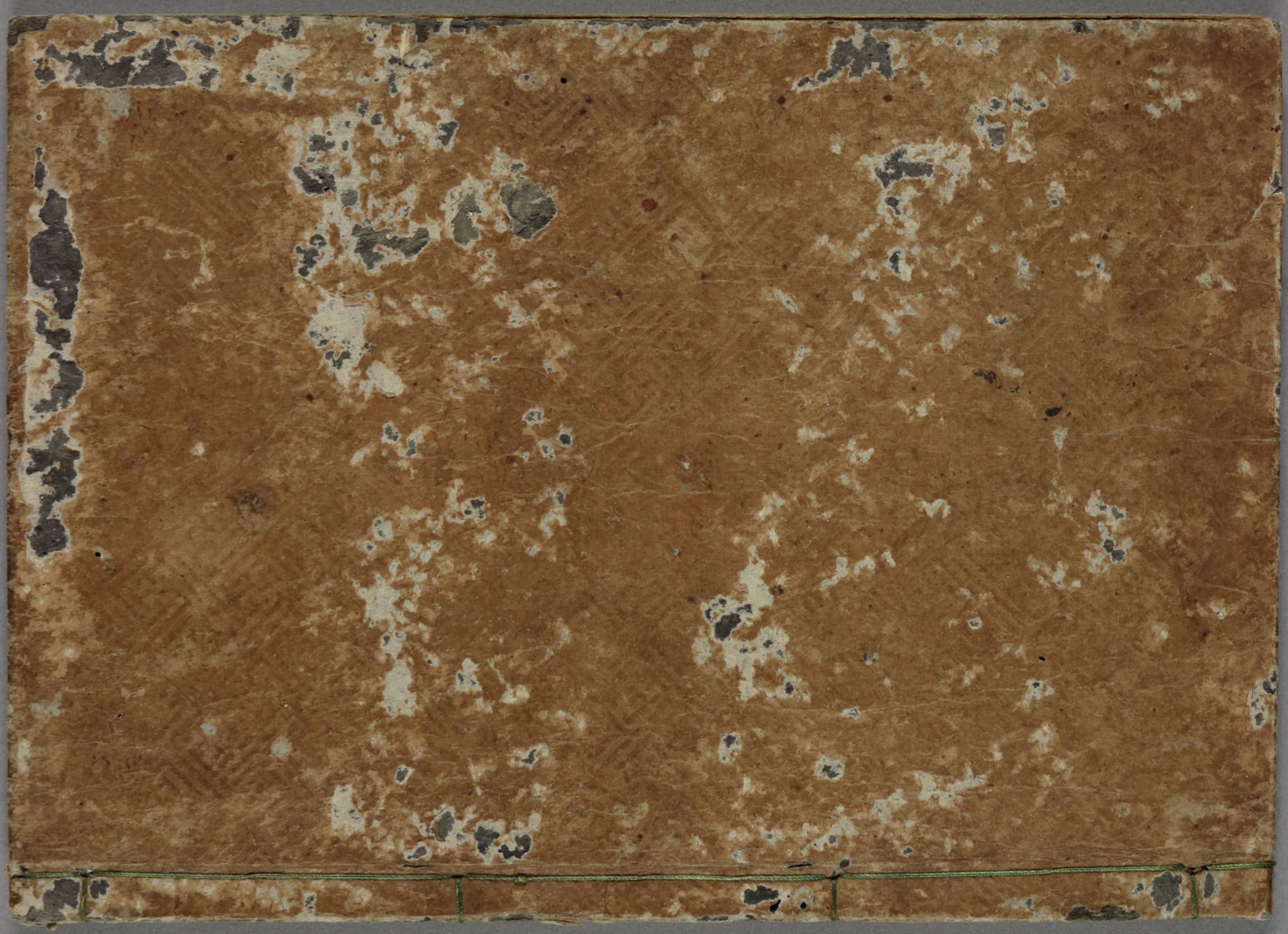

百籤序

抑此百籤と申奉ハ王城の鎮守比叡山根本中堂に立せ給ふ傳教大師第三乃僧正慈恵大師永観三年正月三日に寂せさせ給ふ故に元三大師と唱奉ハ自御鏡と取らせ給ひ御貞と御覧有に御姿常かゝ給されば邪魅魍靈と辟給ひんと誓給ひ御座となるに則此百籤ハ震旦國天竺寺よりも出なり蒙竊以七千餘軸之中に觀音薩埵無量利益不可勝計也経曰十方諸國土無刹不現身月乃衆水に印ずるが如く春の萬國に行ふ似たり衆人合掌而求

所と請則吉凶と次すなこと。響乃音に應ずなかごとし。百發百中嗚呼無邊の大慈大悲深哉こゝ可崇玄妙不可思儀庶幾籤と尚者異とあざむき奇ま誇こと莫ゆくの足

此占者法華普門品三卷讀誦し正觀音千手十一面等乃真言各三百三十三返禮拜三十三度し然後可取者也尤能其身を清淨にし能其身と心とを一にし誠乃意とたこし疑とおこすなしき者なり

正觀自在王菩薩呪

千手千眼大菩薩呪

十一面觀世音大士呪

籤不合時

○甲乙日ハ　己午申酉のこと

○丙丁日ハ　寅卯亥子乃とき

○戊己日ハ　丑卯辰巳のとき
○庚辛日ハ　子丑巳午のとき
○壬癸日ハ　丑未辰戌のとき

願文

謹按經曰念念勿生疑觀世音淨聖於苦惱死厄能爲作依怙具一切功德慈眼視衆生福聚海無量是故應頂禮夫觀世音菩薩者娑婆世界施無畏也利生越三世菩誓願勝十方薩埵由之南瞻部洲大日本國某州某鄉某甲今月今日欲頌而以決其言嫌疑依而一心奉請觀音薩埵三十三身化現等仰冀降臨道場與百頌之中其一而吉則吉凶則凶決猶豫垂證明

奉送文

一心奉送上所請觀世音菩薩三十三身化現等各還歸本座向後奉請不捨慈悲降臨影向道場

右此百籤以濃州大慈山
小松寺之正本校正焉
元祿八乙亥五月吉日
日本橋南
翠簾屋
又右衛門板

第一大吉

七寶浮圖塔

高峯頂上安

衆人皆仰望

莫作等閑看

▲此こゝぐしにあひたる人はてんとうをしんしてたゞ日ぐ月ぐ[illegible]
[illegible]

[illegible]

月被浮雲翳（つきふうんにかげさる）

月のひかりハうきぐもにさへられ……ひかりを見ることなし

立事自昏迷（たつることおのづからこんめい）

[illegible]

幸气陰合祐（さいはひきいんごうのたすけ）

陰合とハ……合の字九十宮……

[illegible]

何慮不眉開（なんぞおもんぱからんまゆをひらかざる）

……古事に眉と云字を……

[illegible]

愁悩損忠良

青霄一炷香

雖然防小過

閑慮學時長

▲此ミクレニ[illegible]

累有興雲志
君恩祿未封
若逢候手印
好事始公公

家道味能昌

危危保禍殃

暗雲侵月桂

佳人一炷香

宅墓鬼凶多

人事有爻訛

傷財損失防

祈福始中和

[illegible]

登舟待便風

月色暗朦朧

欲碾香輪去

高山千万重

[illegible]

勿頭中尾見
文華須得理
未乃自偶然
偕遇非常喜

有名須得遇

三望一期遷

貴人來指處

華菓應時鮮

奪川　多成破

新更　始見財

政求　雲外望

柿木　遇春閒

有祿興家業
文華達帝都
雲中兼好箭
兼得貴人扶

▲ふこうづにあひそうろうをもんじてうらなひをもとめ
○判ていうくさぶいうらなひをもんじてうらなひをもとめ
おりそうろうにんそうぶおりそうろうさおりまするもの
けるみおおすぢようくわづそうろうさりそうろうぐそうろ
くんけもすぢようくわづそうろうさりそうろうぐそうろ
○あのりけうぐくんよさびあのりせまこのぐ
とうくとーごろ日ごろのりひかりこんぶ
あのかりてあのぞうのまいくんけうりまうりうぐんぐ
いうくかうくんあのりせうまいまして
○女あうぐきくーうのつまかうくかの
しあのうまうにはこあてあまきまま
ちぐゆうぐとーこけびてみみぐとしまうの

そのまのひとりてがんそうふわ
いづくりてそんそうふわ
うそうくそぶさびうりおちぐそうぐとひぐ
いくさーおかれいきたうぐとーおかれいきたうぐとーおかれいきたうぐとー
ゆのぶんあーそひまりまぢ

楊柳遇春時

殘華發舊枝

重重霜雪裡

黃金色更輝

第十三大吉

千把大陽煙

東君發舊枝

稼苗方欲秀

猶更上雲岐

石玉未分時

憂心轉更悲

前途通大道

華發應殘枝

▲はるかにあふぎみるは其人といのうまれたるといへり

年耶　数亦孤
冬病　未能鮇
峯危　舟未登
竜臥　失明珠

○人のよき後をうらやむのよそいし世をしもおやこぶんの人をねたむくおもふべし [illegible]

○[illegible]

▲[illegible]

のみよかり

第十六吉

欲政重成望
前途喜亦寧
貴人相助處
祿馬照前程

おもふことをとげんとおもはゞ [illegible]

ありふくにつかさはよし

これよりゆくさきよろこびあり [illegible]

めぐみあるべし

きにんにあふてたすけあり [illegible]

ろくばのさいはひ [illegible]

▲[illegible]

○[illegible]

○[illegible]

○女人[illegible]

○人の子[illegible]

○[illegible]

○[illegible]

○[illegible]

▲[illegible]

▲[illegible]

▲[illegible]

▲[illegible]

▲[illegible]

▲[illegible]

▲[illegible]

▲[illegible]

▲[illegible]

▲[illegible]

▲[illegible]

第十七凶

恠異防憂悩

人宅見分離

惜花還値雨

杯酒惹閑非

[illegible]

▲[illegible]

○[illegible]

○[illegible]

○[illegible]

麻衣褒緑衣
奮憂終是退
遇緑應交糟

家道生荊棘

兒孫防虎威

香前祈福厚

方得免分離

▲けいこうにはふ人天花をいのり日給月まらしあいとまりてこ
○判してはくさふくいなくはつまりしあんけつきけ
一りんさやうどひつまりなくしにはてさまりおりくそれゆへのもんのおさへ
とるりさりさりなりくつしこたくはなりくぶにてあるさ
すはなりさすり
○あつけなくばかくりんの用ふもおやさやうだいなどにはてくるけりて思
ふふうに あつせなくぶすされどもよくしんつまりとらして仏のうらにさがふ
るまりくはあしじさいたりんはさうまじきねもりがしあるいふまらるさ
て きまりらにくしさいたりんはすし
○女人はしんつさうしさりなすぐしきやうだいしあるいにうけけあけるゆへ
ぐこのおさくまたまるまさ人のつまるすくばすもありとしふはくに仏神いのりん
可しき小家をおうくゆくべしさもなくはしんしやうぶれすんぐけのく

月出漸分明
家財毎毎興
何言先有満
更變立功名

[illegible]

洗出經年否

光華得再清

所求終吉利

重日照前程

▲しこうしにわかんいはしんぬいといのり天道をしんしてうし

●判ていくさうしいなりばんけうしいなりばんけうしくはしんぬいはあり
つきはりゆくさしんのまゝにはりはんはしくしんにあがらはてんがけまく
さらなるにひざさるるわしばかりしゆくさしんにあがらはてんがけまく

●しあけなりばんしくはのおしゑにがしふるなくうくとうれ進まが身のら
ちくとうがきさなりはしあけせもわりきりけ道しゑ作んなもちるべし百
きりけくのるんのまゝに叶なりちるゝ大るすなり

●女人はん入おもあくしんなくはしんつきはりんの書なりばふうふ中よしゆく
さしんしんまうよ抱すありふまゝふてさうしゆく道しゑもわりさんもと
しごけびくにんがけよくはりまゝ吉なりまゝ道しおもゆがしひがるす
あくはしゆくすもんのまゝになりまゝしつゝしむべし

●人のよ事なるは人のうるの身百るまんとなりとにひがるすまくはうるくひ抱す
のぞこのまゝに叶道しゆくさしんしゑしんしゑしんしゑしんしゑしんけ

漸漸濃雲散

看看月再明

逢春華草秀

雨過竹重青

紅雲隨歩起

一箭中青霄

鹿行千里遠

爭知去路遙

三女莫相逢
盟言說未通
門裏心肝拙
綺素孑重重

植木遇春生

前途必利亨

亦得佳人箭

乘車祿自行

なりゆゑにようくつゝしむべしゆくすゑはいよ〳〵さかんなるべきなり
○明人はさん人物すんかしなりもりぢかよいやうにあふおかるわり
そのときおりひさりがまつりのうへにかならずさいはひあるべし
あらそひごとはわがこゝろさへたゞしければかならずかちとなるべし
ひろくかうくけいせいもちゐんのうちありをのこともんげけうくはゆくさき
ありさまんがくなり
○ちうくへいもわいしくねがひごとはかなふべし
きんじうにはさく人ゆくさきしふをてまへにかぎりてあるべし
○ひとやうてんちさうしとりもわりにちうとうゆすさらくかなり
しこひろずみつきにあたつてしまゆくまつりはきまんがくなり
▲病すかんにふくもりありまつりしそそうしべし
▲うらんびすすけんかようしてまへよひさおかくあるひ
がくし
▲うせ物はりやがておもふしいのち出じんぼそのうちあさきにあるべし
▲そせうごとはすぐにかなひがたしおしむべしかつひさしくまちてよし
△ゆうげんあそびひぐるまのうちにかならずあひせさんかけよし
▲いさしくにはすしんいそぐうちにあわせよし
▲まち人きたるべしおそくきたるよし
▲尋ねもの見出すまじくぶんがくむありむせうりさひきてよし
▲旅立ふとめしてまよふはしかれどもかつていそぐきを考へてよし
たびだちはみなみのかたよろし

将軍有異聲(しやうぐんいせいあり)
進兵萬里程(へいをすゝむまんりのてい)
争知臨敵處(いかでかしらんてきにのぞむところ)
道勝却虚名(みちかつてかへつてきよめい)

天下のぶしのつかさとなりてんかにいせいといふ名をこそおこなふ
てんかのさむらひのなかにいせいをひろめ名をこそおこなふ
じんとりもこゝろをこめて名をとげおこなふ
まことのかたにはかれどもかならずわれとあらそひ
ぐんのけらいすればたいぜいのぐんぴやうをすゝめゆるとも
いよいよなりこれまでいせいのおもはれたり
てきのあしまでおしよせたりしくさぶらひのおもひにまかせ
たゝかひもまゝならずしてかれへのおもてなしとふみて
なりしめいのたてはあるかぞり
ぶんざまとまりのめいたてやまいくさをとりてい
さきもうけのゆくさきかなはずしてさいよめい
とかくてきのうちなり

▲ひこうしはいかん八正八まんまへまんおんちんちんしてよし
○剣しそいろくさかいるのへかつきちんけれうりつきけりをよへ
はうごさうゆくがんりをもらいもらずとこゝろさとこころうちせつよ
なるべくまことのひとりんれいかりにそむきさかずちさくこおくよひさなく
ゆうこいかりねたみはひとりよろずひがくしまへとありさつしよし
むかし八まんまうるきしてんびしまりんろいいのりてよし
○あけゆけうのへかふうとけのつべし物すかでのざしきされてしくにゑとろこ
ましくねうくねやにさひしつとわ内んにちひき一ちあるとみえさ
そまうづくねよりにんおたいべえありせもちりしのうけのかゆし守もあき
さらひあしせきんかくそうこなどうりかりさまんがくなり
○女人すみべきんつきさうしへのつまたうゆくもそくんはちなりふりうす
あり男子たからさんあをさうしぬるすからし二さんはかたすはせずあるひ切

[illegible]

第二十七吉

望祿應重山

花紅喜悅顏

擧頭看皎月

漸出黒雲間

[illegible]

意速無船渡

波深必誤身

切須回舊路

方可逸災巡

○女人ゑんつきよしゆくさにぬすを人の書たるゝ物をしわすせ
んのやうくなりてもわりさんもやをしゆくをゑんをやうなり但し
んのやうくになりてぬるすぬりひおくすすきこようになりたるハ万事
つしこゝろすなりさんしをすうさいすんふり
さくさりてかんひけ屋しごけびくに人がうるの事ゑ男ぬつ
しこゝろすなり

○人のよ身ゑ身ゑ事のよ今るもの身ぬるすあわるせうくんまくにのぞむこと叶ふ
ぬすりたくなるすえつしこゝろにもなくゆゑんまくに
なくこさのぞくげりあてわる内ハやがて万すんまくになるとしるべし
何すもを思とつしてよし

○所人ゑ分きゑ万すあわるせよしりしうくもなくハやがてうくすうるゝ
此こゝろしらりたりとも思ふのしむ屋しりしまくこうくすりてぬるす
んのまゝゆそうけさりなくハやがてゆやうこさるすゝりこさらすしつわるん
とつしむ屋しそれハいうんとすれハうろんもの中へかくれぬやうにだんし
しつしこそよし屋しこゝろ事ゑこゝろしたるハそのこ
とゆてわやうさるすゝ事ゑさるべし

○あらくにんいしやげいしや物のあるんをうん分あらくもやりてぬすよくハやてしん
をうろわやうさるすわしんうく神仏とのりつしこそ食の人のまゝあるすう
すもなくさのぞくげりすゝハやがて物すんまゝにぬへしとおりふへし

○百あやう田ちさ食物すもあやうへ時のてをうさるすゝ物をしてさくつしこそよし
ぬすしわるせよくなすをくつしこそよし

▲痛すすゝハかんふくすゝ屋しあらくすゝりてゆうんわらバスわやうし
▲うろくひるすすぶんさをくとつしむ屋し▲ゆのふんわらそひらうらてほうるゝ
▲そせうすすふんすけ屋しつまりんつさいにゆてゆゑんつらいわやうし
▲まりんさうさうゝ屋し▲屋ゆうすくまりしぶんふくうろ切
▲黄物よし黄物よし何すてもさうりすし手ゑたらうさるすゝりうちなりうちてかうりたくバスわやうし
▲たひさらさ食へ▲あやうふすゝ必うちなりうちてかうりたくバスわやうし
▲いきしにハわすりすぶんにしわるせ旅ハあめるゝ屋しさしすゝ

○剃していちくさぶくいすゝバ物をひかへ去すあしてかるゝ
さたくハわやうあてさつしてりくゝうりすゝバわくじさいすんのうる屋し
ろうにんハわりつきゑ事ゑ事ゑ物をつしてひかへ屋んハ身を失ふべ
○事けけハいゑぎ事ゑ事けせとのぞむうゑゆくすとおなりいさいすんまゝ
と失ふ屋しまゝ
いすんものうる屋しかもうくあんにゑうりさいすんとのぞまゝなすゝ
○女人ゑんつきちそしいそけいさいすんまわい身を失ふすわり人の書すう
バ物をすつしこゝ心ゑてうんにんをへしかもあるゝ
ゑハやしすゝてわるへしそゆくおうさいすんにゆゑ
てハやをしけ八九分円すくバすんざんすすべしごけびくにいよく身りら
大すすりぬすひうけ物のうしにとりおこるいてよしさもなくハ身をとう
しすふ屋し

○人のよ身ゑ身ゑ身のよ今るもの身ぬる円をにひかへてうんかんしてよし

[illegible]

憂轗漸消融

[illegible]

求名得再通

[illegible]

寶財臨祿位

[illegible]

當遇主人公

[illegible]

仙鶴立高枝
防他暗箭難
非時剛力利
戸内更防危

▲ひとこゝろにおのが人は天をもいのりうらみてそのうらみをうけるべし
●刹那ていらくおのれのむくいをなのるべし
●女ごろんつきなしこのまつこのまつまつこそまつとしるべかりけり
●まりげはぜんぶるくのこくんれんしゅうをつむべし
●ぜんぶるくのこくんれんしゅうをつむべし
●ぜんぶるくのこくんれんしゅうをつむべし
●ぜんぶるくのこくんれんしゅうをつむべし
●ぜんぶるくのこくんれんしゅうをつむべし
●ぜんぶるくのこくんれんしゅうをつむべし
●ぜんぶるくのこくんれんしゅうをつむべし
●ぜんぶるくのこくんれんしゅうをつむべし

鯤鯨未變時

旦守碧潭淇

風雲興巨浪

一息過天涯

[illegible]

似玉藏深石
休將故眼看
一朝良匠別
方顯寶光寒

[illegible]

枯木逢春艶
芳菲雨發林
雲間方見月
前遇貴人欽

臘木春將至

芳菲喜而新

鯤鯨興巨浪

擧鈎祿爲眞

財鹿須葉箭

胡僧引路歸

遇道同仙簫

光華映晩暉

先損後有益
如月之剥蝕
玉兎待重生
光華當滿室

陰霧未能遍
永名亦未逢
幸然須有變
一箭中雙鴻

月照天書靜
雲生露彩霞
人想離庭客
無事若洛嗟

肇用方心腹

家鄉被火災

危三五度

由損關頭財

中正方成道

姦邪恐惹愆

麁中盛妙藥

非久去煩煎

○人のこゝろ身ゆるすんがけ面しくひがるすなくらしく
こゝろもんつきこゝ神仏天道といのりたらばゆくもくちんしやうにさうへゆく道
しあやぶんしきしやうにおくれ何やうし
○町人高人心面じきにひがるすなくひかくとうめやうに物ゆるすぎひんふ
うくしきんつきにおくれ万ゆすてまるとり吉あさるすいふやうかこべし 屋
きおくすくれさいりといとうけふ何さまんぶくにさうへゆく道しおさら
とまけひぎこなるんあらば何ゆるすも叶がたし
○志うくんいしやぎ出しや稼ぎ山仕ここのろいん心面しきに志ふ
うくしきんといのりうくしきんとさりぎひかうくゆさんなくうきうく浴い
とあしなりばらくまゆるすあのきまんぶくにさう志ゆく道しおるり
としみちとなくひがるすのうくれ何ゆるすもうるすひかくし
○百志やうくんたちこ吉心面しきにひがるすなくしきんつきこゝ神仏天道とい
のりなばゆくも志ちんじやうにさうへゆく道しおもしれうくぶいたらば
万ゆるしあるもせあしくわろびけ道し
▲病ゆるすなくれかんふくすきれぎてんぶそあしくさんなくうくれけがたし
▲うろうくびるすせんふんのうくれ十ぶんのようろうびきわくんはおもすし
▲きちんすまるん心面じきんすくれ事ゆるすくんなくうくれきくうくめるすり
▲そせこゝる吉すぶんすまるのうくそうそう叶て万ゆる事ひ吉ひゆるすのうくれ叶ても後おやうきるす
▲うせおわりせんんなくうくれおべし 何くんなくうくれ出くし
▲ゆいふんわくそひるすすふんのうくなくかちて結合吉むりすくがらても後おやうし
▲屋根りもくまうしがんぶくうわれむくれんおくし万ふし
▲業人おぜんんのうくれ吉わくんなくうくれそんあこ道 奉ゆ和同行
▲いくさしには吉人のうくれいくさくとり恐人なくすくれ能すぎ道し
▲たひしちうしうし 吉人なくうくれゆくされよし 恐人のうくれあやうし
▲たうきは家ろいあるぎいあるすぎ 中のなるくなるり

有物不周旋 [illegible]

須防損半邊 [illegible]

家鄉煙火裡 [illegible]

祈福始安然 佛神天道と志んしてさいしいといのり なくば
万ゆるすんあんらくまるすくさしとなり

▲心こうしまつふんは天道といのりせよまりしてよし
○判していまく何ゆるすくれ立身はとしたらしんこゝ身はとし 長寿はよし
物ゆるすおりしかるうくに家まの内志まりしぬくまゆる塗人のそん必おり その初治
まてこゝ無ゆるすなし 共志んつきれば仏神いのりて吉なるしんらうる多くうざ
こゝるすくしゆるとも出れば大ゆる塗人のまつふるすあり 高門出ふ法ふんいおくつゞこゝ
○志ゆりけは高門せおそし 物ゆるすんのまくしなすくぶんいうけ
きしもしたるすぬるとんまそんとうるすあこ病はたられ物出すまとくし 幸こ
ちこのうくばぶんなし 田とんあいおし 物ゆるすさいるすんつゞしてよし
○女人家んつきおそし 人の素のうくれ物ゆるすさいるすん病ゆるすおりし 万ゆ
んのまうにはすくぬくしゆるすぬ人まつふそんあこ道しらうくみ十とこ田
ゆるすまでこゝいくらうし こゝるすおりし 一あて万ゆるすあんゆる家
仏神いのりるすれんつゞんらくに物道し 事なし
○人のおゆるすまゆ家のるすんかうるすの身物ゆるすんのまくしまこのうくぬくこゝこゝ出
しゆるすぬるとんのそんとうるすつゞりさうるすうらしみ十とこくこくれ物ゆ

桂花春將到
雲天好進程
貴人相遇處
暗月甬分明

[illegible]

月桂將相滿
追鹿映山溪
貴人乘遠箭
好事始相佳

[illegible]

[illegible]

盤中黒白子

一著要先機

天龍降耳澤

洗出舊根碁

[illegible]

[illegible]

有意興高顕（こころありておこしてかうけんす）

禄馬引前程（ろくばひくぜんてい）

得遇雲中箭（うんちうのやをえてあふ）

芝蘭満路生（しらんみちにみちてしやうず）

[illegible]

[illegible]

雷鼓震天昏

[illegible]

佳人獨掩門

[illegible]

交加文書上

[illegible]

無事也遭巡

[illegible]

なんぞ一代ゆうしきこまりはあるまじ　けつくせんかんかんのつまりさるも
のこまりはあるまじ
○人のなすなす代家のなんかんこの身ねるまんまめにすくわるじにしたりと
うけおいいこそれなんそこへしらくぜのさいなんこへしらくしたるに
をつりし神仏といのりてさいなんとのがるべしんぞそ元年四しくひ
ぎなすきこんなのくがなのくせういかほめねかんあるべし
○町人高人万なすてまわりはしくわさこなすひなすに付はやこさいなんと
うえ川のしやうがいたるすえ五代すつにしたらくはろうしきよ入りとしらら
き町へおりうりろびりせてうせとへうりくるす事ゆへ田もはらんにおちお
そうくなすこなる　しよくつしこのうるべし　しきこのうるすとはいとに
たるなり万なすよしんつしよしこなる
○しらくへいしやげいしや稱きこ山伏みこのれいしきこくせんしきこ
そやかるなりそれすれば万なすんのまうこ入らけわしきこんなすんばはしきこ
んなずくふてせんよさこすなとのとがめとうしにしらくしんぞ
○百しやうぞんこすきちらしこ代なかしらくなすさいくしきこ
かるまろうひりよなすこしこて長みんかけらきこんなすんは一生なし
▲病すかんふくすなる　しさりなすくわやうきこなすさいくわり
▲よろこひなすまし　しちのこのうるすはさいくわり
▲まちんこぞこぞ　▲こびしらわ　しかんぶくこかれ聲れ人あくわし
▲風作りまこまりしわ
▲そせうなすわし　▲うせ和おかしし
▲黄和はやうし　黄和日新
▲ゆりかんはうそひまりけるなりべし
▲いきしにるすナに八のいきこうり

更望身前立　こうなる　しとなり
何期在晩成　のぞこるす叶とてもりしあそこさるすあるべし　これなくおそうしんとはうまそおりひあさうまよ　しそうなり
若過重山去　たらくなすぐくゆきこ山といくあそこあそすぎ　さうばいかくさいまいあるなし　しとなり
財禄自相迎　ざいかうもちぎやうもありひよくばこひこと　しうりかうるすあるべし　しとなり

▲ひこうしまはかふへは天名といのり日月をしんくしてよし
○判していもく侍すくばかりのしんはりりさう役りまりもあ万なんのまそ
なりさりなすぐそをまをとうせぎこてよしなりのしんおそこすあるべし
ふしまりなる　しろしはんありつきこありたらくとあるこうせぎこ
○しありけなすくばしありせもはりまもあり万なのそこるす叶なりしんづく
とうせぎそよし　あおりつきこたるをまるすくばねなのぞこるすんうごうまへ
しおそきこるすとうんかんしてまわりてよし
○女人しんつきこうしさりなすぐくおそきこるすきこなる　しまわりてよし　たく
なすくへしんつきこしさうばかりさまりんぶくこしんじやうすなる人の書なるハ
ちしぐわてなもありさんも風れしねなのぞこ叶てよしうしよりれ
百なす吉ふ面しきこよつしこてよし
○人のなすなす代家のなおなすのそこ叶なる　しあそこさるすはりうんかんし
てまわりてよし　たらくなすくゆけはいかくこうしまこ内まてうさんとしたし
さうばとあるりじとなれば重山は山をかうしたるなとに山の字なりしうくば

見緑陽前綿
弊心休更迷
一朝逢好渡
鷺鳳入雲来

▲此うらもよろしくあかるくのびやかなるうらなり
○別ていうべきのことばもなけれどもうらもよろしくこれまでよりもなほ
よろしくなりてよきうらなり○人のよきをみるにつけ我のよからぬをおもひ
くらべてくよ〳〵神仏をいのりてようやくとやめてまことのこころにて人の

見緑陽前綿
弊心休更迷
一朝逢好渡
鷺鳳入雲来

▲此うらもよろしくあかるくのびやかなるうらなり
○別ていうべきのことばもなけれどもうらもよろしくこれまでよりもなほ
よろしくなりてよきうらなり○人のよきをみるにつけ我のよからぬをおもひ
くらべてくよ〳〵神仏をいのりてようやくとやめてまことのこころにて人の

正好中秋月

蟾蜍皎潔開

暗雲知何處

故故兩相攀

[illegible]

▲[illegible]
▲[illegible]
▲[illegible]
▲[illegible]
▲[illegible]
▲[illegible]
▲[illegible]
▲[illegible]

苐五十吉

有達宜更變
重山利政逢
前途相偶合
財祿保亨通

[illegible]

▲[illegible]

○[illegible]

○[illegible]

○[illegible]

[illegible]

修進甚功奇

[illegible]

勞生未得時

[illegible]

騰身遊碧漢

[illegible]

方得遇高枝

[illegible]

有懲頭惹訟

兼有事交加

門裏防人厄

災臨莫嘆嗟

久困漸能安
雲書降印權
殘花終結實
時亭禄自遷

身同意不同

月蝕暗長空

輪雖常在手

魚水未相逢

雲散月重明
天書得誌誠
雖然多阻滞
花發再重榮

生涯 喜復憂
末光 先白頭
勞心 千百度
方遇 貴人留

▲ひとりごとのようにいうことばの一例をあげてそうろう
列てそうろうのうんぬんでそうろう
ろうそうろうのうんぬんでそうろう
つうそうろうのうんぬんでそうろう
くわうくんのうんぬんでそうろう
○このわけをくわしくいうべきようもなけれども
もんくをいうのようにきこえてはそうろうまじく
う　ちゃくとこころえそうろうまでのことにそうろう
れにんげんのうんぬんでそうろう
○女ことばのうんぬんでそうろう
いうようなことばでそうろう
ありそうろうのみにてそうろう
○このみまんなかの代表のようなそうろう

欲渡長江闊

波深未自儔

前漢逢浪靜

重整鈎鰲鈎

有徑江海陽
車行峻嶺危
亦防多進退
猶恐小人虧

去住心無定
行藏亦未齊
一輪清皎潔
卻被黑雲暗

高危安可渉
平垣是処年
学道當逢泰
風雲不偶然

▲はこんでおりますが天気非常に
○初めていらっしゃるお客をそそのか
くお勧めなさいまして
つぎつぎ段々ふえることを一人ずつ
うでございまして小さいのもおりますが
○ちょうどよくしてしまうことをしまして
の門がしまりますようにまいりますが
ありがとうございますことを
さいまして
○初めてのお客様を
女ばかりでお客様のそばへ
うんけんをしてお客様をお
○人のまいりますのを

高危安可渉
平垣是処年
学道當逢泰
風雲不偶然

▲はこんでおりますが天気非常に
○初めていらっしゃるお客をそそのか
くお勧めなさいまして
つぎつぎ段々ふえることを一人ずつ
うでございまして小さいのもおりますが
○ちょうどよくしてしまうことをしまして
の門がしまりますようにまいりますが
ありがとうございますことを
さいまして
○初めてのお客様を
女ばかりでお客様のそばへ
うんけんをしてお客様をお
○人のまいりますのを

[illegible]

舊愆何日解
戸内保嬋娟
要逢十一口
遇鼠過牛邊

[illegible]

終轗軻時時退
名顯四方揚
政敬重榮禄
昇高福自昌

▲ひさしくまちこがれたるひとはきたるべしそのひとのすがたかたちをとはばこたへていふべしいろしろくせいたかくしてうつくしきひとなりとこたへよ

▲尋ねものはいづかたにありやとうらなはばこたへていふべしとほからずしてかへるべしとこたへよ

▲女人をんなのうらなひはこたへていふべしおとこのこころはやすからずしてうはきものなりとこたへよ

▲人のうらなひはこたへていふべしこのよのまよひのごとくにしてこのよのまよひをもとめんとするものなりとこたへよ

何故生荊棘

佳人意漸踈

久困重輪下

黄金未出渠

安居且慮危
情深至別離
風飄波浪急
鴛鴦各自飛

▲ひとつどころにおちついてくらしているときにも
のちのちのことをかんがえておくがよい
いつまでもなかよくしていたいものだ
ときにはわかれなければならないこともある
ふうふのなかがよければよいほどわかれるときは
なごりおしいものだ
ちょうどおしどりがつがいをはなれてとびさるように
ふうふのなかもいつかはわかれるときがある
ふうふのなかがよければよいほどわかれるときは
なごりおしいものだ

[illegible]

若病兼防辱

[illegible]

乘危亦未蘇

[illegible]

若見一陽後

[illegible]

方可作良圖

[illegible]

[illegible]

[illegible]

水滯火波濤

飛鴻落羽毛

重憂心緒亂

閑事惹風騷

▲[illegible]

柘木未生枝

獨歩上雲岐

登知身未穏

獨自惹閑非

異夢生英傑

前來事可疑

芳菲春日暖

依舊發殘枝

明月暗雲浮

花紅一半枯

惹事傷心處

行舟莫遠圖

[illegible]

雷發庭前艸

炎火向天飛

一心來趕祿

爭奈掩朱扉

道業未成時

何期兩不宜

事煩心緒亂

飜作徘徊思

戸内防重厄

華菓見分枝

嚴霜總遍後

亦可施相宜

火暗漸分明

登江緑水澄

芝書從遠降

終得異人成

蛇虎正交羅

生二尾多

交歳方成慶

上下不能和

孤舟欲過岸

浪急渡人空

女人立流水

望月意情濃

[illegible]

富貴天之祐

何須苦用心

前程應顯跡

久用得高臨

累滯未能鮇

求名莫遠圖

登舟波浪急

咫尺隔天衢

○ふるくしまひかるゝく信力よ神仏に[illegible]

○所人あさく[illegible]

○[illegible]

○[illegible]

▲病[illegible]

▲[illegible]

但存正公道

何愁理去忠

松栢蒼蒼翠

前山祿馬重

○新しく[illegible]

○[illegible]

○女人[illegible]

○人の[illegible]

残月未還先
樽前非語傷
戸中有人厄
祈福保青陽

○朝天宮の神前にて、いのりさいまいと祝詞を奏上つりまつる。

▲ここらでまあ人が天女をそれ
ろそろ今のうちに百まいつ
○女人多し。さあ一人のうまいの
うさ門さいごんろうろう
ふおもおもっこけひらに
○人のまいまいおのよ人ごろ

▲そもそもこれは神仏結合をいのりこんこうろ
ろうろうろうろうろう
▲そもそもこれは神仏結合をいのりこんこうろ
ろうろうろうろうろう
ゆいろんおろうろうろう
▲そもそもこれは神仏結合をいのりこんこうろ
ろうろうろうろうろう
のぞろうおろうろうろう
ろいやろうろうろうろう
ろうろうろうろうろう

深山多養道

忠正帝王宜

鳳凰遂鸞飛去

年高過九十天

道合須成合
先憂事更多
所求財寶盛
更變得中和

[illegible]

火發應連天

新愁惹舊傷

欲求千里外

要渡更無舩

舉歩出雲端
高枝未可攀
昇頭看皎月
猶在黒雲間

窮極方無奈
華開値晩秋
人情不調備
財寶是來偷

[illegible]

第八十五大吉

望用何愁晩

水名漸得寧

雲梯終有望

歸路入蓬瀛

[illegible]

華發應陽墓
車行進寶財
靴文朝帝殿
走馬听聲雷

鑿石方逢玉
海波始見金
青絲有路
堅心不恐不

作事不和同
臨危更生凶
佳人生若根
開慮兩三重

一片無瑕王
従今好琢磨
得遇高人識
方逢喜氣多

一信向天飛

秦川舟自歸

前途成好事

應得貴人推

改變前途去

月桂又逢圓

雲中乘祿至

凡事可宜先

自幼常為旅

逢春駿馬驕

前程宜進歩

得箭降青霄

[illegible]

有魚臨旱地
踊躍入波濤
鴻中須有望
先且慮塵勞

[illegible]

事忌樽前語

人防小輩交

幸乞陰公祐

方免事敲爻

▲ [illegible]

志氣勤修業
祿位未造逢
若聞金雞語
乘船得便風

[illegible]

雞逐鳳同飛
剮林整羽儀
棹舟須濟岸
寶貨滿船歸

[illegible]

霧重重樓屋
佳人水上行
白雲歸去路
不見月波澄

欲理新絲亂
閑愁足是非
只困羅紈裡
相見幾人悲

紅日當門照

暗月再重圓

遇珍須得寶

頗有稱心遄

▲此ミクジにあふ人は天道をいのり志をくびきやりんぶんぶい天志んぶで吉

●朝ぞていまく御のうれつまり志ん吉宰人は御吉なる人ぶぎ役勢りよし万事

●吉志んぐに神仏天道をいのりん正ろにひらこしまのうまりなくつしこ

ゆざんなくつくむ者しりしさもなくんがけおもしろ

●吉のけのくば吉のちは結合吉万事すりなぐのる天道まけてふりこ

まんかくんのまてくゆくすゑはかくまんに月ひられ結ちらるまこ志んぐに

私の御しゑをよく守りん正ろにこしまのがるはりなくふりしこ

さくばしいのさもなくんがけおもしくは何なるもみなさるまでも

がふるすけうべし

●女人ゑんつきさうし人の書なりくばいるもんと男子と女子と三人なり万事結合吉

ふりきまんぶくんのまくさりゆくすゑよくあるまでまけてすりなぐのる

吉なるなりまんぐに神仏天道をいのりん正ろにひらこしまのく

祿走白雲間

携琴過遠山

不遇神仙面

空惹意闌珊

定榮堂藏梓目錄

大坂心齋橋南四町目
吉文字屋市兵衛

唐詩白圭 唐詩訓解拾遺	全	孝經 孔安國註	全
陳明卿史記考	五冊	千字類合 貝原篤信著	全
貞觀政要頭書	十七冊	徂徠先生國字牘	全
同 格式	一冊	小補韻會	二十冊
和漢三才圖會	八十一冊	增續四聲字林集韻大成	全
大廣益會玉篇頭書	十二冊	袖玉字林集韻	全
春秋列國圖	全一枚	五車拔錦 懷中節用集	折奎
詩法掌韻大成	五冊	日本歲時記 貝原好古撰	四冊
經解 春秋正月考	出來近刻	日本書籍考 [illegible]道春輯	二冊
津逮秘書 冷齋夜話	出來近刻	主聖漫錄	全

四書 林道春点 山本復齋点 文之点 無点 全

合類衆方規矩大成 全

小兒話法 全

外治方鑑 三冊

本艸和解 四冊

日本大圖 全一枚

初學指南鈔 毛利貞齋撰 全

助語辭俗訓 種積伊助撰 二冊

滑稽雌黃 桂井蒼公撰 四冊

華陀中藏經 五冊

梅譜 全一冊

新增日本道中行程記大全

大坂書肆 心齋橋南四町目 吉文字屋市兵衛

江戸書肆 日本橋南三町目 吉文字屋次郎兵衛